



第3回定期考査に向けて、万全の準備でのぞもう!

明後日9日(水)から11日(金)までの3日間、第3回定期考査を行います。全教科で2学期学習した内容の総復習を中心に、単元をまとめて振り返りましょう。定期考査のたびに広い範囲で教科のまとめをすることは効果的な学習です。これまでの授業で学習した内容を振り返って、理解できていなかった個所を見つけ出し、自分の方法で試験勉強に取り組みましょう。勉強にかけた時間は、必ず自分の中に成果として蓄積されていきます。

授業研修の風景

生徒のみなさんが定期考査に向けて試験勉強を頑張っているように、先生方も試験問題の作成とともに、「わかる・できる」授業づくりに懸命に取り組んでいます。

宮崎先生(社会)

宮崎先生の授業の素晴らしさの一つに資料の豊富さがあります。本時もそのことが十分に発揮され、たくさんの写真やグラフなどがモニターに映し出され、生徒から「おー!」というような歓声が何度もなぐあがりました。



7年4組で行われた社会科の授業。アマゾンの開発か環境保全かを考える授業でした。宮崎先生が準備した圧倒的に豊富な資料をもとに、7年4組の生徒は活発に自分の考えを発表していました。グループ内でさまざまな角度から意見が出されジャムボードで集約されました。開発か保全かを多面的・多角的に考察が進んでいました。

清水先生(数学)

清水先生の授業のうまさの一つに、構造的な板書・見やすくわかりやすい黒板があります。今回の研究授業ではそのことはもちろん、学習問題の面白さと問題に取り組む際のグループ活動の良さが公開されました。

8年5組で行われた数学科の授業。星形五角形の先端にできる角の和が 180° になることをできるだけ多くの方法を使って説明できるようになる授業。これまで学習した7つの図形の性質を使います。ポイントは、1つの方法を見つけるのではなく、できるだけ多くの方法を探し出すことです。8年5組の生徒は、そのためにグループ討議をとっても活発に行っていました。



定期考査を前に2本の授業研修が行われました。河東中の授業の質の高さの一つに、授業の初めに「適切な問題・課題」の提示があります。今回公開された2本の授業はまさにそうでした。宮崎先生の授業では「アマゾンの開発か環境保全か」、清水先生の授業では「五角形の先端の角の和は何度か」というものです。その問題に生徒が取り組むうえで河東中で重視しているのが、人との対話を通して問題解決にあたるということです。すなわち、対話や交流活動です。これも、7年4組と8年5組の生徒はグループ内で自分の意見をはっきりと言い、他者の意見を自分のものと照らし合わせて再考する活動が活発に行われていました。

「勉強の苦しみは一瞬、勉強しなかった苦しみは一生」

～ ハーバード大学の図書館の落書き ～

世界の大学の最高峰と言われるハーバード大学。この大学の図書館に学生を鼓舞する落書きがあるそうです。ハーバードの学生でさえ、いつも意欲的に勉強できるわけではありません。本を目の前に、気が向かないこともあるでしょう。そんな時、本や勉強への気持ちに火をつける言葉が落書きとして20の文で並べられています。

今週行われる定期考査を目の前にしている河東中生に紹介します。試験勉強に気が向かない時に読み返してみてもう一度読んでみましょう。

1. 今眠る者は夢を見る。今勉強する者は夢をかなえる。
2. 君がムダにした今日は、亡くなった多くの人々が願ってもかなわなかった明日である。
3. もうおそいと感じたその瞬間が、物事をはじめる一番のタイミングである。
4. 明日やるより、今日やるほうが何倍もよい。
5. 勉強の苦しみは一瞬、勉強しなかった苦しみは一生。
6. 勉強に足りないものは時間ではなく努力だ。
7. 幸福には順位はないが、成功には順位をつけることができる。
8. 確かに勉強は君の人生全てではない。しかし生涯にわたってともにするものだ。
9. 苦しみから逃れようとするくらいなら、それを楽しめ。
10. 成功への道は、人より早起きし、人より努力することである。
11. 楽しんで成功することは決してない。本当の成功に必要なものは徹底的な自己管理と忍耐力である。
12. 光陰矢の如し。
13. 今日のよだれは将来の涙。
14. 犬の様に学び、紳士の様に遊べ。
15. 今日歩くことを止めれば、明日は走ることになる。
16. 最も現実的な人は、未来に投資する。
17. 勉強の差が収入の差。
18. 今日は二度とこない。
19. 今この瞬間も相手は学んでいる。
20. 苦しみをなくして、前に進むことはできない。



「ぼくの願いはスマートフォンになること」

～ シンガポールの小学生が書いた衝撃的な作文 ～

「ぼくの願い」という題で、小学校の作文の宿題が出されました。シンガポールの小学校の先生が報告した、ある小学生が書いたものです。この作文、みなさんはどう受け止め、何を感じますか？

ぼくの願いはスマートフォンになることです。

なぜなら、ぼくのママとパパはスマートフォンがとても大好きだから。

ママとパパはスマートフォンばかりを気にして、ときどきぼくのことを忘れてしまいます。

ぼくのパパが仕事から疲れて帰って来たとき、パパはぼくではなく、スマートフォンと時間を過ごします。

ママとパパが大事な仕事をしていてスマートフォンが鳴り出したら、1回鳴っただけでもすぐに電話に出ます。

ぼくが泣いているとき、そんな風にはしてくれないのに。

ママとパパは、ぼくとではなく、スマートフォンでゲームをして遊びます。

スマートフォンで誰かと話しているとき、ぼくが何か伝えたいことがあっても、ぼくの話聞いてくれません。

だから、ぼくの願いはスマートフォンになることです。

逆もあるかもしれません。スマートフォンに夢中になっている中学生に、親が何度声をかけても気がつかない、返事がない。友達同士でもあるかもしれません。面と向かって会話する時、相手の表情を読み取る能力は大丈夫でしょうか。マスクをしていても、目は口ほどに物を言います。河東中生には、ぜひ目の前の人の変化を顔の表情から推しはかれる人になってほしいと思います。